



# Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 57

R2.8.19

## 今月のキーワード

## 単元計画と評価計画

夏休み明け、小学校6年生は Lesson4 “My summer vacation” の単元から授業開始となる学校も多いと思います。休み中の思い出を伝える際に便利な単語や表現は、教科書に掲載されていますが、今年は、子どもの「伝えたいこと」に合致しない部分もあり、少し工夫する必要があるかもしれません。このような状況を“語彙力を増やすチャンス”と捉え、子どもにとって“できた”“分かった”といった手応えを感じることができるよう授業づくりをお願いします。今回は、単元計画の構想及び評価計画について具体事例をもとに考えてみたいと思います。

### 単元計画を構想する

#### ■ 6年生 Lesson 4 My summer vacation (教育出版社)

単元最初の見開きページ(教科書 P45)には、「夏休みの思い出を絵日記にして伝えよう」と吹き出しがあり、この単元で目指すゴール(最終的に行う言語活動)が示されています。本単元では、夏休みの思い出を伝える活動を通して、自分たちが今まで知らなかった身近な地域や場所について情報を得るだけでなく、友達について新たな発見が生まれることも期待できます。単元のゴールを目指して、子どもが主体的に取り組める単元計画を構想しましょう。



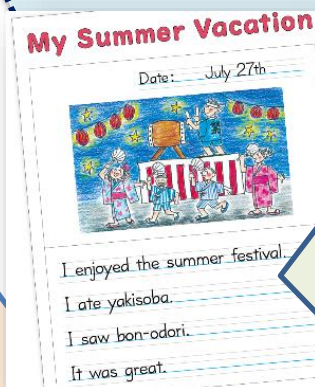
①単元のゴールを明確にしましょう。児童に身に付けさせたい力や具体的な姿をイメージします。具体的な姿とは「何を伝えるか」「どのように伝えるか」「誰に伝えるか」を明らかにすることです。



例えば、「友達に“来年の夏休みには、一緒に～してみたい”と思ってもらえるように、夏休みの思い出を伝えよう」と、言語活動をする目的を付加することで、目的意識や活動意欲が高まります。



②単元のゴールに向けて、**どのような言語活動が必要かを考え、1～8時間目までの学習活動を組み立てます。**評価場面も考慮しながら配列を考えます。



★単元のゴールで使う言語材料は何かを確認します(教科書 P50)

→動詞 (enjoyed/ate/saw/was)、感想を伝える表現 (great/delicious など)、イベントや行事の言い方を学習することが分かります。

→このような単語や表現を、どのように単元計画(1～8時間目)の中で、学ばせるかを考え、単元全体を組み立てます。その際、「聞く」「読む」「話す(やり取り・発表)」「書く」の5領域と3つの評価の観点の組み合わせを考え、評価の計画も考えます。

(次ページ参照)



# 単元計画例



<評価の観点> 知識・技能→**知** 思考・判断・表現→**思** 主体的に学習に取り組む態度→**主**

**第1時**  
教科書 P44-45

夏休みに楽しんだことについて伝えるための単語や表現を理解する。例：◇指導に生かす評価：「聞くこと」**知**

I went to/enjoyed～.

**第2時**  
教科書 P45-46

夏休みにしたことや、行った場所について伝える。例：◇指導に生かす評価：「話すこと（発表）」**知**

I went to/enjoyed/ ate/saw ～.

**第3時**  
教科書 P46-47

状態・気持ちを表す語句を使って、夏休みの思い出を伝える表現を理解する。

例：◇指導に生かす評価：「聞くこと」**知** 「話すこと（発表）」**知**

I went to/enjoyed/ ate/saw ～.  
It was fun/delicious/exciting.

**第4時**  
教科書 P48

夏休みにしたことや、行った場所、そのときの気持ちを表す語句を使って、語順を意識しながら、思い出を伝える。◆記録に残す評価：「話すこと（発表）」**知・思・主**



**第5時**  
教科書 P49

夏休みの思い出についてたずね合い、感想を言う。

例：◇指導に生かす評価：「話すこと（やり取り）」**思・主**

A:What did you do in your summer vacation?  
B: I saw a movie. It was fun.  
A:Cool !

**第6時**  
教科書 P50

夏休みの思い出について、読み手に伝わるよう、例文を参考に語順などを意識して書く。

◆記録に残す評価：「書くこと」**知・思**



本時で◆記録に残す評価「書くこと」を行う前時までに、毎時間一語ずつ（穴埋め形式等で）単語を書き溜めさせ、◇指導に生かす評価を積み重ねておくなど、事前に十分指導しておくことが大切です。

**第7時**  
教科書 P50-51

友だちに“来年の夏休みには、一緒に～してみたい”と思ってもらえるように、夏休みの思い出を伝えよう。

◆記録に残す評価：「話すこと（発表）」**知・思・主**

第4時の◆記録に残す評価からの変容が見られるよう、第7時までに適切な指導を行っておきましょう。

**第8時**  
教科書 P51

友だちの書いた夏休みの思い出を読んで、感想を伝えよう。◆記録に残す評価：「読むこと」**知・思**

例えば、先生の発音した単語を聞いて適する単語を指す活動は、「読むこと」**知**で評価することができます。



※◆記録に残す評価「読むこと」「書くこと」**主**の評価については、複数単元に渡って評価を行うため、本単元の評価計画には入れていません。

※「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」、いずれも教師の指導の改善に生かすことが大切です。「記録に残す評価」は、内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で行いましょう。

文責 学校教育課 稲葉亜希恵

